

教えて!

市立病院

〈第 102 回〉

軽傷頭部打撲、のうしんとう脳震盪について

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450



【今月のドクター】

脳神経外科長
かわせまこと
川瀬 誠 医師

お子さんや、高齢の方が転倒などして頭をぶつけた際には、様子を見て良いものか、病院を受診したものか、悩んだことはありませんか。外傷による頭蓋内出血の場合、やや時間が経過してから症状が出てくることもあるため、次のような症状がある場合は、医療機関の受診をお勧めします。

①ぼーっとしている、呼びかけにちゃんと反応しない。②30分以上の記憶がない。③激しい頭痛がある。④繰り返し嘔吐する。⑤手足が動かない。⑥けいれん発作を起こす、などです。2歳未満のお子さんや、65歳以上の高齢の方は注意が必要です。特に、脳梗塞、心筋梗塞、心房細動などで血液サラサラのお薬（抗血小板剤、抗凝固剤など）を内服している方は、血が止まりにくいので、ベッドからの転落程度の軽い打撲でも重症化することがあります。

医療機関を受診し、頭部CT検査をすれば、頭蓋内出血の有無は

すぐにわかります。CT検査による放射線被曝の問題がありますので、やみくもに検査するわけにもいきませんが、症状によっては画像診断を提案します。頭蓋内出血があれば、入院の上、経過観察します。出血がひどい場合には手術が必要になることもあります。

スポーツによる頭部打撲の場合は、画像診断上、明らかな頭蓋内出血がない場合でも、当日の競技復帰はお勧めできません。翌日以降に軽い有酸素運動からなど段階的競技復帰が推奨されています。

雪の時期、転倒、転落には十分気をつけましょう。